

支援メニューのご紹介



支援環境



社会で自立するために必要なスキルを身につけます

保護者の皆様が心が願っていること、それはお子様の社会的自立ではないでしょうか？
一人の社会人として普通に働き、社会で生活していく、そのために何が必要かを一緒に考える
事業所を目指します。

学習支援

／それぞれの目標に合わせ、ゆっくり着実に

当事業所では、保護者様とお子様の希望に沿った学習支援を行います。
学校の宿題はもちろん、希望に応じて、漢字、英語、数学、ニュースなどの各種検定など、
高い目標に向けたフォローも合わせて行っていきます。
それぞれの目標に向かってゆっくりと、でも着実に進めていきます。

コミュニケーション支援

／コミュニケーションの「ギャップ」を理解する

「自分の意見をはっきりと伝えなさい」「場の空気を読みなさい」どちらもコミュニケーションには大切な要素ですが、相反する考え方です。
当事業所では「アナログゲーム療育」などの手法を用い、この2つの考え方を理解し、楽しみながら実践することでコミュニケーション力を向上させていきます。

経験力支援

／たくさんの経験が子どもたちの自信になる

学校休業日や夏・冬休みを利用して、子どもたちの経験力の向上を図っていきます。
キャンプやスキーなどの屋外活動はもちろんのこと、社会生活で起こり得る一場面（例えば
銀行や区役所に行って手続きをする）を切り取った経験をさせることで、子どもたちの経験力
（経験値）をさらに上げていきます。
経験力の向上はきっと子どもたちの自信にもつながるはずです。

手話・口話・ICTなどツールを選ばない支援体制

当事業所ではあらゆるコミュニケーションツールを用意しています。
手話や口話はもちろん、音声認識アプリ「UDトーク」を導入し、学習支援の場面では指導
員の説明内容が子どもたちの手元のタブレットのほか、教室内の大型ディスプレイにも表示さ
れます。
また、当日や今後の予定についても、事業所内にある大型ディスプレイに表示されるなど、
徹底的に情報の「見える化」を図っています。

コミュニケーション方法に対する不安を取り除き、子どもたちがいきいきと過ごすことの
できる環境づくりに努めています。

難聴・聴覚障がい児とコミュニケーションに課題のある子どもたちのための 放課後デイサービス ふくろう

FAQ



放課後デイサービスについての質問にお答えします

Q. 放課後デイサービスってなに？

小学生～高校生までの障がいのあるお子さんや発達に
特性のあるお子さんが、放課後や長期休暇に利用できる
福祉サービスで、個別療育や集団活動を通して、家と学
校以外の「第3の居場所」を提供します。

Q. 費用ってどれくらいかかるの？

利用料金は、児童福祉法に基づいて市町村が定める負
担上限額の範囲内で各家庭ごとに計算され、その利用料
の10%が利用者様の負担金となります。
(残りは受給者証を発行する自治体の負担となります)
《上限額の目安 1か月あたり》
★非課税世帯 0円
★世帯収入概ね890万円未満 4,600円
★世帯収入概ね890万円以上 37,200円
※別途おやつ代が100円/1回かかります。

Q. 利用するにはどうすればいいの？

概ね次のような流れになります。

- 【ご相談・ご見学】
→ まずはメール、電話でご連絡ください。
- 【区役所へ申請】
→ (受給者証が無い場合) お住まいの区役所への申請
が必要です。
- 【区役所職員による調査】
→ 調査員による心身の状況等に関する調査が行われ
ます。
- 【受給者証交付】
→ 上限額等が記載された受給者証が交付されます。
- 【契約・利用開始】
→ 契約を締結し、利用開始となります。

Q. 送迎ってやってくれるの？

送迎も行いますので、お気軽にご相談ください。